スマイル Pick Up!

市民の笑顔お届けします

古文書で紐とく、勝山の歴史

令和5年4月に発足した「勝山市古文書を読む会」。月2回、第1・3土曜日の午前10時から市立図書館に集い、先人が残した古文書を丁寧に読み解いています。

会員の方に古文書の魅力を尋ねると「暗号みたいな“くずし字”をみんなで話し合いながら解読する作業がとても楽しいです。また、江戸時代に書かれた文字と向き合うことで、当時の生活がよく分かりますし、解読後にまちを歩くと新たな発見が待っています」と笑顔で話されていました。

会では昨年度、江戸中期（1749～1750年）に書かれた『三町萬留日記』（勝山三町の様相を記した記録）を3年半かけて解読し、冊子にまとめました。そしてこの成果をきっ

かけに、古文書の魅力をより多くの方に知ってもらいたいとイベントを企画しています。

【イベント】勝山にまつわる古文書を読もう

萬留や関連史料を読みながら江戸時代の三町を旅します。

と　き▶5月23日㈯ 10:00～

ところ▶勝山まちづくり会館　第1会議室

※1回目は説明会で、今後数回講習会を開催予定

ふるさとを訪ねて ～地域文化を掘り起こそう～ ⑫

市史編纂室　山田　雄造

勝山女子高等学院　その２

学院は制服も校章も校歌もそろい、勝山中学校の一棟を借り登校できるようになった。こうして学校としての体裁も徐々に整っていった。授業は生徒の勤務体制にあわせて午前と午後に別け、午前は各会社の教室で実習科目を、午後は学校に登校して一般科目を受講、これを1週間交代で行った。一方で、修学旅行・運動会・球技大会と学校行事も充実したものとなった。以下は学院の文集「若い芽」の一節です。

運動会の様子

「…私が、こちらに来る時、唯一言。「頑張っておいで」だけが心に残っている。汽車の中で私は叫びたかった。『うん父さん、絶対に頑張ってくるよ』って。三年間はどんな苦しい事があっても父さんの言葉を思い出して頑張るよ。…だから私は学院もまじめに来て三年間、頑張った時には『偉かった』って子供のようにほめてネ。父さん。その言葉を期待しています」。

しかし初年度こそ全国から300人を越える入学があったが、以後は年を追い減少していく。その背景には43年（1968）勝山精華高校に昼間二部制の定時制が新設された上、学院を卒業しても高校卒の資格が得られないなどの事情があった。それに追い打ちをかけるように、46年のドルショック続いてオイルショックで、繊維産業は厳しい時代を迎える。こうして合理化を強いられ、革新織機の導入で人手も大幅に省力化されるようになった。

47年度は学院最後となる年で4月11日に3年生わずか19人で始業式を行った。そして最後の卒業生となったのは13名で、卒業式は翌年3月11日学院の教室で行われ、引続いて閉校式も行われた。こうして足掛け10年の短い校史を閉じた。

区長 令和8年度の区長さん

問総務課（市役所2階）☎88－1116

行政と地区住民の橋渡し役としてご活躍いただく区長をご紹介します。（敬称略）

◎地区区長会長　○同副会長　☆同理事

勝山地区

元　禄	河野　誠
元町２(◎)	片田　武彦
元町３(☆)	山内　澄
昭和町１(○)	中村　辰夫
昭和町２(☆)	川原　栄二
昭和町３	笹川　和宏
旭町１(○)	北川　龍男
旭町２	村元　恭一
旭毛屋町(☆)	薩摩　和彦
立川町(☆)	本田　和宏
上　郡	齋藤　光潤
上袋田	酒井　則應
下袋田	松村　透
上　後	徳田　尚之
中　後(☆)	和田　勇
下　後	坪内　忠義
上長渕(☆)	織田　茂人
下長渕	森下　信一
富　田	茂呂　輝夫
沢　町	桝家淳一郎
芳野町(☆)	鎌田　兼行

猪野瀬地区

猪野口	廣瀬　介治
若猪野(○)	鳥山　新一
高　島	加藤　浩樹
西高島	三觜　博信
毛　屋	山内　真
猪　野	本田　康雄
片　瀬(◎)	柴田喜代美
片瀬町	中村　春樹
岡横江	岸本　賢二

平泉寺地区

平泉寺(◎)	竹内　和順
赤　尾	千京　正夫
笹　尾	北山　修一
大　渡	山内　正博
壁　倉	山田　一男
岩ケ野(○)	堂前　耕一
大矢谷	谷口　恵二
小矢谷	山口　浩志
神　野	牧野　和男
経　塚	櫻井　崇博
平泉寺町上野	南　清和

村岡地区

滝波町	畑中　保彦
郡　町(◎)	田上　滋良
五本寺	宮下　洋一
黒　原	花田　明治
栃神谷	山岸善太郎
暮　見(○)	植田　一成
寺　尾(○)	前田　吉一
浄土寺	水谷　達洋
長山町	中村　博明

北谷地区

中　尾(○)	石井　孝幸
北六呂師	小林　宏治
河　合	斎藤　甚継
木根橋	大山口健治
谷(◎)	山内　隆之

野向地区

龍　谷	藤澤　克美
竹　林	吉元　禎
聖　丸(◎)	石橋　政光
深　谷	森本　雅夫
薬師神谷	宮塚　和彦
牛ケ谷	清水　修
北野津又(○)	竹内　哲二
横　倉	北川　雅敏

荒土地区

松　田(○)	須見　達夫
田名部	丹後　英二
布　市	山田　誠司
清水島	笠松　徳雄
北新在家	下道　隆史
別　所(◎)	大谷　重光
境	山内　善正
戸　倉	日谷　哉
西ケ原	古家　継一
荒土町新道	岩倉　治
細野口	下牧　一郎
北宮地	堀内　博一
堀　名	薮下　光男
中清水	石井　和彦
伊　波(○)	廣田　繁信
妙金島	島田　昭仁
新　保	平泉　利栄
松ケ崎	渡　敏昭

北郷地区

西妙金島	中西　繁治
檜曽谷	山岸　茂樹
新　町	木下　清治
志比原(○)	小林　新次
上森川	中村　正人
下森川	笠川　信浩
東　野	田中　幹也
伊知地	大谷　与栄
坂東島(◎)	竹島　正和
北郷町上野	木下　俊毅

鹿谷地区

保　田	安居　康司
西光寺	坪内　一
北西俣	島田　雅仁
矢戸口	田中　善信
本　郷	山内　敬市
西遅羽口	黒瀬　竜夫
東遅羽口	宇佐美律雄
杉　俣	山内　義明
志　田(○)	吉田　順一
発　坂(◎)	三枝　政勝
保田出村	中村　幸平

遅羽地区

下荒井(○)	鳥山　寛治
崚　崎	清水　定雄
大　袋	斎藤　壽一
遅羽町新道	横山　憲治
北　山(◎)	斎藤　敏幸
蓬　生	斎藤清一郎
中　島	伊藤　祐広
千代田	川端　和浩
比　島	伊藤　則男